



学校だより

高岡市立こまどり支援学校

平成29年11月 7日

学習発表会の笑顔と拍手に

教頭 米田 一毅

秋も一段と深まり、日だまりの恋しい季節となりました。去る10月21日の学習発表会にご来校いただきました来賓や地域の方々、ご家族や交流校のみなさんから、本校の子供たちの活躍にたくさんのお褒めの言葉をいただきました。ありがとうございました。「みんなが主役 心を合わせて かがやこう」という児童生徒会テーマのもと、子供たち一人一人が自分のもてる力を十分に発揮して、精一杯表現してくれたことを、大変うれしく思います。

私は、学習発表会を迎えるまでに、日に日に上手になっていく子供たちの様子を見てきていたので、当日のステージ発表では、子供たちの演技を観る客席の方々の様子に注目していました。そこで、私が目にしたのは、ステージ上の子供たちの笑顔に勝るとも劣らない客席のみなさんの笑顔でした。子供たちの一つ一つの動きや言葉に対して、うなずきながら拍手を送ってくださるのです。会場を包むその温かな雰囲気、この時間と空間をみなさんと共有できる喜びを強く感じました。

本校では、物語の登場人物に子供たちを当てはめるのではなく、子供たちがもつ可能性に合わせて、内容を組み立てます。そのために、先生方は子供たち一人一人の成長を見通し、今できることではなく、練習すればできそうなことを想定して一から台本を創ります。学習発表会を終えた時に期待する子供たちの姿を描き、ストーリーを組み立て、動きを付けて、セリフを考えます。さらに、どのようにすれば子供たちがステージ上で輝くのかを時間をかけて議論し、知恵を絞ります。

どの学部も、わずか20分余りの短いステージ発表ではありますが、その中には、子供たちのがんばりと先生方の工夫がたくさん詰まっています。震える手を伸ばしてスイッチを押そうとする姿、一生懸命セリフを言おうとする姿、一步一步ゆっくりと着実に歩みを進める姿。それらを客席から見守るみなさんの目は、「がんばれ!」というメッセージに満ちています。そして、子供たちがそれをやり遂げた時、客席は優しい笑顔と大きな拍手に包まれるのです。この日までの積み重ねを十分に理解いただいているみなさんだからこそ、あんなにも温かく認めてくださるのだと思うのです。その意味では、本校のステージ発表は、演劇ではなくドキュメンタリーと言えるのかもしれない。

「みんなが主役」・・・子供たち一人一人が独自の表現方法で成長した姿を披露すること。

「心を合わせて」・・・子供たちと先生方はもちろん、観客も一体となって盛り上げること。

「かがやこう」・・・どの子供もたくさんの人の前で表現する喜びを味わうこと。

本校に関わるすべての方々が目指している学習発表会の有りようが、当日を終えて、ようやく私にも分かってきたように思います。

朝の寒気が身にしみる時節となりましたが、子供たちの明るい笑顔と元気な挨拶に、新たな目標に向かって歩んでいこうとするエネルギーを感じる日々です。



「学習発表会」から

学習発表会に向けて、子供たちは、展示作品の制作や劇の練習に一生懸命取り組んできました。当日のステージ発表では、みんなで力を合わせて一つのものを作り上げる大変さや楽しさを十分に味わうことができました。多くの人に見てもらおう緊張感や、力を合わせて一つのことをやり遂げる達成感はとても良い経験になったことでしょう。

【小学部劇 「こまどり島の大冒険」から】



【中学部劇 「こまどり放送局 笑ってコラえて！日本列島ダーツの旅 ユネスコ無形文化遺産を探せ」から】



「2018 こまどりカレンダー」完成！

今年もみんなで力を合わせて制作してきたこまどりカレンダーが完成しました。教室やグループごとに担当する月を決め、その季節に合った内容の図柄を工夫し、それぞれ制作してきました。そして、12枚の作品を一つにして「2018 こまどりカレンダー」になりました。

11月30日には市役所で贈呈式が行われ、代表の児童生徒が市長さんや、市議会議長さんにお渡ししてくる予定です。保護者のみなさんにも配布されますので、どうぞお楽しみに。



避難訓練・引き渡し訓練実施！

11月2日の学習参観後に、大きな地震が発生したという想定で、避難訓練を行いました。子供たちは、地震発生時は身を守り、避難指示後は落ち着いて体育館に移動していました。

その後、緊急メールを受信して体育館に迎えに来た保護者の方々に、子供たちを引き渡す訓練も合わせて行いました。

これを機会に、ご家庭でも防災グッズや避難場所の確認など、万一に備えて準備を整えていただければと思います。ご協力ありがとうございました。

